

偽造薬、模造薬および医薬品の違法取引に対する

タケダの見解

背景

本見解は、「優れた医薬品の創出を通じて人々の健康と医療の未来に貢献する」というタケダのミッションを示すものです。タケダは、「Patient（患者さん中心）」、「Trust（社会との信頼の構築）」、「Reputation（レピュテーションの向上）」、「Business（事業の発展）」の順に重視することでミッションの実現を目指します。

偽造薬、模造薬およびその他の違法な医薬品取引は、世界中の消費者と患者の皆さんに重大な脅威を与えています。複雑な病気の治療と予防に使われる薬を狙う違法行為が増える傾向にあり、製薬業界は患者さんの安全と医薬品の品質を守るために、増え続けるこれらの課題に直面しています。

タケダは患者さんの安全を確保するため、リスクに基づく包括的な手法を積極的に用いて、偽造医薬品、違法医薬品、その他不正が疑われる医薬品の危険性を見つけ出し、適切に対処しています。そのために特別に設置された偽造薬品対策チームは、戦略的手法を用い、社内の関連部署および外部機関と協力して、この使命を実行しています。

タケダの見解

タケダの偽造薬、模造薬および医薬品の違法取引に対する基本方針は次の通りです。

- 国内および国外の法執行機関、規制当局、他の製薬企業、業界団体と積極的に協力して、偽造医薬品や違法取引と戦う一方で、患者さん、取引企業、そして医療関係者などに偽造医薬品や違法取引に関する危険性について啓発します。国際製薬団体連合会（IFPMA）の“Fight the Fake（ニセ薬に気をつけろ！）”キャンペーンや安全なオンライン薬局連盟（ASOP）などとのパートナーシップを通じ、患者さんを啓発する草の根活動に寄与します。
- 世界中の取引企業に対して常時、高度な安全性基準や要件を設定し、これらの要件に照らして精査（デューデリジエンス）と監査を行ないます。
- 医薬品の偽造、盗難や流用、改ざんを検知し事前に防ぐため、製品とパッケージ用の革新的な不正防止策を評価・開発・導入します。
- 違法オンライン薬局など違法インターネット取引の積極的モニタリングおよび介入など、タケダ製品の違法取引に関わる疑いのある組織を検知・調査し、証拠を継続的に集めます。

結び

偽造薬、模造薬および医薬品の違法取引は、タケダ一社だけで取り組める問題ではありません。タケダは患者さんの安全を守るため、関連組織と強固な協力体制を築き、イノベーションを推進します。

安全なオンライン薬局連盟、Rx-360、製薬防護研究所、IFPMA、アジア太平洋経済協力ライフサイエンスイノベーションフォーラム（APEC-LSIF）などの組織を通じて、業界全体に同様の取り組みを働きかけます。

2019年4月